

http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0711/14/news137\_2.html

The screenshot shows a web browser window with the URL [www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0711/14/news137\\_2.html](http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0711/14/news137_2.html). The page title is "Windows Server 2008の基礎知識：第4回 柔軟性と機能性を大..." and the main heading is "Windows Server 2008の基礎知識：第4回 柔軟性と機能性を大幅に高めたIIS 7.0 (前編) (2/3)". The author is listed as "(奥主洋 (エンジェリスト), マイクロソフト株式会社)". The article text discusses the new operation modes of IIS 7.0, mentioning that it is based on Windows NT/Windows 2000 and has improved performance. A sidebar on the right contains social media links and a "Sponsor's notice" section with several bullet points about server optimization and cloud migration. At the bottom right, there is a logo for "Lead Initiative 2014" with the text "クラウドが切り拓く企業システムの近未来 - 新たなステージの幕開け -".

http://blogs.technet.com/b/hirookun/archive/2009/02/19/3204360.aspx

The screenshot shows a web browser window with the URL [blogs.technet.com/b/hirookun/archive/2009/02/19/3204360.aspx](http://blogs.technet.com/b/hirookun/archive/2009/02/19/3204360.aspx). The article title is "ASP.NET" and the content discusses the compatibility of ASP.NET with IIS 7.0. It mentions that IIS 7.0 is based on Windows Vista SP1 and that ASP.NET 4.0 is required for full functionality. The author explains that IIS 7.0 has introduced a new "Classic Mode" for ASP.NET, which allows for better performance and security. The article also includes a list of "Tips for Classic ASP developers on IIS7 (英語)" and a section on "PHP". A right-hand sidebar contains a list of dates from May 2009 to July 2011, likely representing a calendar or a list of related posts.

http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb515251%28v=vs.100%29.aspx

The screenshot shows a web browser window with the URL [msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb515251\(v=vs.100\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb515251(v=vs.100).aspx). The page is the MSDN Developer Network page for IIS 7.0. It features the Microsoft logo and the "Developer Network" header. The page includes navigation links for "ホーム", "テクノロジ", "機会", "プラットフォーム", "つながる", "ダウンロード", "サンプルコード", and "ライブラリ". There is also a search bar and social media icons for Facebook, Twitter, and LinkedIn. The main content area is partially visible, showing the title "IIS 7.0 から IIS 7.0 への...".

この記事は翻訳者によって翻訳されたものです。記事の文脈にポインターを重ねると、原文のテキストが表示されます。

訳文 原文

## IIS 6.0 から IIS 7.0 への ASP.NET アプリケーションの移行

NET Framework 4 | その他のバージョン | このトピックはまだ評価されていません - このトピックを評価する

This topic describes how to move a Web application from Internet Information Services (IIS) 6.0 to IIS 7.0.

このトピックでは、インターネット・インフォメーション サービス (IIS: Internet Information Services) 6.0 から IIS 7.0 に Web アプリケーションを移行する方法について説明します。IIS 7.0 では、クラシック モードと統合モードのどちらかを Web アプリケーションが使用するように構成できます。クラシック モードは、ISAPI 拡張を使用して ASP.NET ランタイムを呼び出すことで、IIS の以前のバージョンとの下位互換性を維持します。このオプションでは、通常、既存のアプリケーションをほとんどまたはまったく変更する必要がありません。

IIS 7.0 統合モードは、ASP.NET の要求パイプラインと IIS の主要要求パイプラインを統合する、統合された要求処理パイプラインです。統合パイプラインにより、パフォーマンスの向上と、構成および管理のモジュール性が実現し、より柔軟にマネージ コード モジュールを使用して IIS を拡張できます。たとえば、Web アプリケーションの App\_Code フォルダにマネージ コード モジュールを定義し、それを登録して、静的ファイルに対する要求を含むすべての IIS 要求に適用できます。

IIS 7.0 統合モードを使用するには、アプリケーションの Web.config ファイルに若干の変更を加える必要がある場合があります。IHttpModule インターフェイスを実装したカスタム モジュールをアプリケーションが使用している場合、そのほかにもいくつかの変更が必要になる場合があります。

IIS 7.0 の統合モードの要求処理パイプラインの概要については、「IIS 7.0 における ASP.NET アプリケーションのライフ サイクルの概要」を参照してください。IIS 7.0 を使用すると、同じサーバーで、クラシック モードのアプリケーションと統合モードのアプリケーションを同時に実行できます。クラシック モードと統合モードはどちらも .NET Framework Version 2.0 とそれ以降のリリースをサポートします。.NET Framework Version 1.1 は、クラシック モードのみがサポートされています。以前のバージョンの IIS を IIS 7.0 にアップグレードする方法については、「Upgrading ASP.NET Applications to IIS 7.0: Differences

http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd939080.aspx

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

windows 2008 iis aspd... x TN Blogs - Windows Server... x iis6 iis7 移行ツール - Go... x TN IIS 6.0 から IIS 7.0 への... x +

technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd939080.aspx

よく見るページ xampp ギャバ(NTITサービス)...

TechNet 製品 技術情報 ダウンロード トレーニング サポート

Microsoft 日本 (日本語) サインイン

TechNet Bing で TechNet を検索

ホーム ライブラリ サポート情報 ダウンロード ラーニング コミュニティ フォーラム サイトマップ

エクスポート (0) 印刷

## IIS 6.0 から IIS 7.0 への移行

このトピックはまだ評価されていません - このトピックを評価する

作成者: Faith Allington  
 発行日: 2008 年 3 月 23 日 (作業着: faith\_a(英語))  
 更新日: 2009 年 5 月 12 日 (作業着: faith\_a(英語))

このクイック ガイドは、Web 配置ツールを使用して IIS 6.0 から IIS 7.0 へ Web サイトを移行するのに役立ちます。

**Web 配置ツールを使用して実施できる移行の種類**

- すべての構成設定、コンテンツ、および証明書を含む 1 つまたはそれこそ 1,000 の Web サイトの、IIS6 から IIS7 への移行
- 単一アプリケーションの移行
- サーバー全体 (すべての Web サイト、アプリケーション プールなど) の IIS6 から IIS7 への移行
- サイト、アプリケーション プール、アセンブリ、COM オブジェクト、レジストリ キー、コンテンツなどからなるカスタム マニフェストの、IIS6 から IIS7 への移行

**前提条件**

このガイドの前提条件ソフトウェアは以下のとおりです。

- .NET Framework 2.0 SP1 以降